

ユーザーニーズの 複雑高度化の中で

社団法人発明協会 常務理事
新特別会員代表
上野 修



皆様、こんばんは。ただいまご紹介いただきました上野でございます。高いところから失礼いたします。昨年末で特許庁を退職いたしました。昭和48年4月以来、31年と9カ月の間大変お世話になりましてありがとうございます。この場を借りまして厚くお礼申し上げる次第であります。

皆様方にお話ししたいことも多々あるわけですが、時間の関係もございますので、現職でいたときの印象、それから近況、それから先ほど大勢の新人の方のごあいさつがありました。現役の方、特に若手の方に対するメッセージとこの3点ぐらいでごあいさつしたいと思っております。

私は31年余り在職したわけですが、やはり印象と申しますのは、技術の複雑高度化という言葉はございますけれども、ユーザーニーズの複雑高度化というのをひしひしと感じていた次第です。一昔前ですと特許の話、あるいはパリ条約とかPCTと、知っている人は特許庁以外はおられなかったわけですが、最近は民間の方でも非常に知識のある方がたくさんいらっしゃいまして、そういう意味でこのIPの世界が広がっていると同時に、特許庁に対するニーズも非常に複雑高度化してきているんじゃないかなと思っております。

審査・審判を基本とし迅速的確な処理、これを基本に据えつつ、制度あるいは運用の改正、国際化、さらに私も少しタッチさせていただきましたけれども、情報あるいはシステムの問題等々、非常にニーズが複雑多様化してきていると感じていた次第でございます。そういう意味で年々、生きがいを感じて仕事ができただけを非常にうれしく思っています。

2つ目に近況でございます。関係各位のご高配を得ま

して、本年1月より発明協会勤務をしております。主たる仕事は大先輩の柴田さんの跡を継ぎまして、特許流通促進事業ということで、特に知的財産の普及が必ずしも十分でない地域、あるいは中小企業、大学といったところにライセンスの専門家でございます。特許技術アドバイザーを派遣いたしております。そこでニーズ・シーズのマッチングを行いつつ、この特許制度の重要性をご認識いただき、活用するというをしかりやっただき、知的創造サイクルを回していくという仕事をしているわけございまして、今、まさに地域知財戦略本部等々の動きがございますけれども、非常にいい時期にいい仕事をさせていただいているのかなと感じております。ますますやりがいを感じている次第です。

3点目は現役の皆様、特に若手の皆様ですが、先ほど申し上げましたようにユーザーの皆様レベルがどんどん上がってまいってきてございまして、これに対応して特許庁に対するニーズもますます複雑高度化、多様化してきているという現状でございますので、ぜひユーザーの皆様のご意見とかそういったものをよく聞くためのアンテナを高くしていただき、かつそのニーズに対応するようにスキルアップ、技監のお言葉にもございましたけれども、自己研鑽をしっかりといただき、かつ人はネットワークでございますので外部のユーザーの方を含めまして、それから特許庁内にネットワークをつくっていただいで仕事をしていただければ、ますますやりがいのある仕事ができるんじゃないかと思っております。

私もまた、立場が外に変わりましたが、微力ではございますが、特許制度を支える人間の1人として頑張っていきたいと思っております。今後ともよろしく申し上げます。どうもありがとうございました。